

# トランスレーショナルリサーチ部門 第6回公開セミナー/研究交流会

2013年 8月 31日(土) 13時～  
東京理科大学薬学部14号館1411教室

- 13:00-13:05 **開会の辞** 深井 文雄 (東京理科大学・薬・分子病態学)
- 13:05-13:20 **研究報告1** インテグリン制御を標的にした難治性疾患新規治療法の創成  
(若手連携G) 堀口 道子 (東京理科大学・薬・製剤学)  
伊豫田拓也 (東京理科大学・薬・分子病態学)  
宮嶋 篤志 (東京理科大学・薬・生物薬剤学)
- 13:20-13:35 **研究報告2** 中枢神経系に作用する新規神経ペプチド薬の開発  
(岡・山下G) 濱田 幸恵, 岡 淳一郎 (東京理科大学・薬・薬理学)  
堀口 道子, 山下 親正 (東京理科大学・薬・DDS 製剤設計学)
- 13:35-13:50 **研究報告3** 新規 PARP1 阻害機構による虚血・再還流障害治療薬の可能性  
(樋上研) - 疾患モデル動物を用いた検討 -  
樋上 賀一 (東京理科大学・薬・分子病理学)
- 13:50-14:05 **研究報告4**  $\gamma$ 線架橋による新規ハイドロゲル調製と製剤素材としての可能性の検討  
(花輪研) 花輪 剛久 (東京理科大学・薬・医療デザイン学)
- 14:05-14:20 **研究報告5** イベルメクチン全身浴法の温度・浸漬時間と角層への移行性を検討する試験  
(小茂田・花輪・廣田G) 廣田 孝司 (東京理科大学・薬・生物薬剤学)  
小茂田昌代 (東京理科大学・薬・医療安全学)  
花輪 剛久 (東京理科大学・薬・医療デザイン学)
- (14:20-14:30 コーヒーブレイク)
- 14:30-15:05 **【教育講演1】** 糖尿病領域のトランスレーショナル研究をめざして  
佐々木 敬 (慈恵会医大 糖尿病・代謝・内分泌内科学 教授)
- 15:05-15:40 **【教育講演2】** トランスレーショナルリサーチにおけるYMWY  
関谷 剛男 (佐々木研究所 所長)
- (15:40-15:50 コーヒーブレイク)
- 15:50-16:05 **研究提案1** 細胞接着調節薬を用いた、より効率的な細胞分化誘導療法の実現  
(若手連携G-継続) - in vivo モデル動物を用いた治療効果、および安全性に関する検討 -  
伊豫田拓也 (東京理科大学・薬・分子病態学)  
堀口 道子 (東京理科大学・薬・製剤学)
- 16:05-16:20 **研究提案2** 新規神経ペプチド薬の中枢神経移行を目指した DDS 研究  
(岡・山下G-継続) 堀口 道子, 山下 親正 (東京理科大学・薬・DDS 製剤設計学)  
濱田 幸恵, 岡 淳一郎 (東京理科大学・薬・薬理学)
- 16:20-16:35 **研究提案3** オートファジーによる代謝性疾患制御の可能性  
(樋上研-新規) 須藤 結香 (東京理科大学・薬・分子病理学)
- 16:35-16:50 **研究提案4** イルソグラジンマレイン酸含有口腔内用製剤の開発  
(花輪研-新規) 河野 弥生 (東京理科大学・薬・医療デザイン学)
- 16:50-17:05 **研究提案5** リン酸アパタイトを用いた slow releasing DDS について  
(新規) 鶴嶋 英夫 (筑波大学医学医療系・脳神経外科学 准教授  
筑波大学付属病院臨床研究推進・支援センター 部長)
- (17:05-17:15 コーヒーブレイク)
- 17:15-17:50 **【教育講演3】** (仮題) トランスレーショナル・リサーチの発展のために  
重藤 和弘 (医薬品医療機器総合機構(PMDA) 理事)
- 17:50-17:55 **閉会の辞** 深井 文雄 (東京理科大学・薬・分子病態学)